

留 学 報 告 書

令和 5 年 12 月 8 日

学 部 生物資源科学部 学科・課程 環境共生科学科

氏 名 西村 椋平

※ 留学先大学での成績証明書を添付すること。（島根大学に直接送付される場合はよい）

1. 留学先大学・学部 国名 アメリカ合衆国

大学名 ケント州立大学

現地到着日（ 2022 年 8 月 14 日） 授業開始日（ 2022 年 8 月 24 日）

現地出発日（ 2023 年 5 月 14 日） 授業終了日（ 2023 年 5 月 8 日）

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

ビザ申請、留学許可書の発行、残高証明書の発行、クラス登録、寮登録、飛行機手配、保険発行、など多数。

ケントから送られてくるTo doリストを元に、準備を進めていった。

3. 自宅から留学先大学までの交通手段（乗物の種類、乗り換え地、所要時間）

西明石駅から品川駅まで新幹線（3時間）→在来線で羽田空港へ（0.5時間）→羽田空港からJFK空港（13時間）→JFK空港からクリーブランドホプキンス空港（1.5時間）→ケント大学が手配してくれたタクシーで大学へ（0.75時間）

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

Student center へ行き、学生証を発行してもらう

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

いくつかのグループに分かれて、簡単なゲームをしながら交流した。ESLではなかったなので、プレースメ

ンテストはなかった。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

私は、教授がおっしゃっている内容の10%ほどしか聞き取ることができなかったので、苦労した。だが、授業以外にも、授業スライドや教科書、授業中にとったノートを授業後に振り返り、ついていくことができた。試験は、選択形式が多かった（授業による）。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

おすすめしたい授業は、Exploring Business。ビジネスの基礎のようなものを包括的に学ぶことができる。また、アメリカでのビジネスについての考え方や現状を、浅く広く学ぶことができる。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

私はDumber寮に宿泊した。シェアルームということもあり、ルームメイトのいびきに悩まされたりしたが、すみやすい寮だった。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

寮での注意事項は特にない。規則がないので、寮の開閉は学生証があればいつでも可能である。もし緊急事態が起きても、大学に警察が駐在しているので、24時間助けを求めることが可能。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等）

大学が提携しているPNCバンクを利用した。私はソニー銀行を持っているので、親からソニー銀行に送金してもらい、そこで円からドルへ変換し、そのドルを一度引き出して、PNCバンクに振り込んで、使っていた。VISAカードであれば、日本の銀行のカードでも使用可能だが、友達同士で送金し合えるZelleというサービスを使うには、PNCバンクが必要である。

11. キャンパス案内（どんなとき、どこへ行けばよいか等）

困ったらstudent centerへ。緊急事態の時は、警察へ連絡。キャンパス内は自然が豊かなので、歩くだけでも楽しく、ストレスが解放される。また、とても大きなジムがあり、そこで運動するのも良い。

12. 現地案内（買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子）

買い物はwallmartというスーパーが近くにあり、バスで行くことができる。銀行（PNCバンク）は大学内にある。レストランは、大学近くの中華街の中にある中国料理屋さんがとても美味しかった。理髪店は、大学からバスで15分ほどのところに行ったが、とても下手くそだったので、一度行った後は自分や友達に切ってもらっていた。

13. 失敗談（どんな小さなことでも）

JFK空港でのターミナル移動の際、違法タクシーを利用してしまい、5分の乗車で100ドルを取られた。問題は、空港の職員の恰好をしている者の案内で乗車したのが、詐欺のタクシーだったのだ。おそらく変装していると思うが、想像以上に手口が上手いので、気をつける必要がある。また、出国までの手続きが本当に大変でややこしいので、早めに準備しておく必要がある。

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

胃が痛くなり、大学内にある病院に行った。学生だからか、保険に入っていたからかはわからないが、薬代だけ請求された。また、その場でインフルエンザのワクチンも無料で打ってもらった。保険は、大学が推奨する民間の保険に入った。

15. お世話になった方々

友達やケント大学の国際担当係の人にはとても助けられた。授業での疑問点や、行く前の不安要素や疑問を丁寧に答えてくれた。

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

ニューヨークに5日間旅行した。生活費は徹底的に抑え、観光にお金を使った。部屋はAirbnbで予約し、

最安値のシェアルームにした。ご飯は外食はせず、スーパーなどで食材を買って、安く済ませた。総額で10万円ほどかった（飛行機代を抜いて）。

17. 気候と服装について

気候は北海道のような夏は涼しく、冬は寒い。だが、大学内はエアコンが常に稼働しているので、特別な服装の準備は必要なかった。個人的には、とても過ごしやすい、素敵な場所だった。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品、衣服、食品、薬、運転免許証等）

薬は日本で調達することをお勧めする。他の食品や衣服など、現地でも似たようなものを調達できるので、特にはない。だが、日本のお菓子はもっと持って行けばよかったと思っている。

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書、旅行案内書を含めて）

特にない。だが、留学系ユーチューバーのYuzzyくんのチャンネルで、留学するイメージが湧いた。

20. ホームステイの依頼方法

寮に住んでいたため、ホームステイは利用していない。

21. 留学費用について

1) 旅費	(往復)	40万 (コロナ禍で高騰していたため)	円
2) 準備費用		15万	円
3) 大学へ納入する費用			円
授業料 (年間合計)		50万	円
保険等その他の費用		40万	円
4) 住居費 (光熱費等含む)		100万	円
5) 衣服代, その他雑費		5万	円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等		1万	円
7) 留学先国内旅行費用		10万	円

9) 食費：70万（ミールプラン）、友達と遊ぶためのお金；月3万×8ヶ月＝24万円

現地通貨 25400ドル 日本円換算(レート) 355万 円

22. 帰国時の荷物の作り方，送り方等

必要ないなと思ったものは捨てていたので、荷物の量はそこまで多くならなかった。なので、ただスーツケースに入れるだけだった。荷物は自分で持ち帰った。

23. 留学して得たこと（全般についての感想文）

不安だらけの渡航前とは裏腹に、とても充実した楽しい時間を過ごすことができた。大学の授業は分からないことも多々あったが、基本的なことができれば単位を取ることができ、友達も日本にいた時より簡単に作ることができた。もちろん、苦しいこともあったが、全力で毎日を過ごしている感覚がとても心地よかった。またこの大学では、私には到底追いつけないような素晴らしい思考をもって生活している学生がたくさんいた。そのような人たちに会えて、友達になれたことはとても幸運だったと思う。留学では、やりたいことがたくさんあった。友達と過ごす時間、授業のための勉強時間、英語の勉強時間などだ。すべてに全力で時間を割くことは不可能だったので、優先順位をつける必要があった。その中で、友達と過ごす時間を最優先に考えて行動したことは、本当に正解だった。もちろん、英語や授業の勉強は大切だが、この先、留学した後も残っていくもので考えた時に、友達が一番大切だと思った。なので、ほとんどの友達の誘いは断らずに行っていた。そのせいで、寝不足になったり、授業のクイズでは満足のいく点数がとれなかった時もあったが、そのネガティブな側面を上回る楽しさや思い出が作れた。留学は、自分の固定概念や感性を大きく変えるきっかけに沢山出くわすので、ぜひお勧めしたい。